

執筆者紹介

編著者

大坪 滋 (おおつぼ しげる) [企画・編集, はしがき, 序章, 第1章, C2-3, 第C3章, 結章担当]

学位: スタンフォード大学 Ph.D. (Economics and Operations Research).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

職歴: スタンフォード大学経済学部講師, 国際連合国際経済社会局経済調査官, 世界銀行国際経済局エコノミスト, 経済企画庁経済研究所客員研究員, アフリカ開発銀行調査局コンサルタント, インドネシア国家開発計画庁アドバイザー(JICA 長期専門家)等歴任.

専門領域: 開発経済学, 国際経済学, 国際開発経済学.

最近の研究課題: グローバリゼーション下の途上国開発戦略.

主著: *Global Economic Prospects and the Developing Countries* (World Bank, 1993-97, 共著), 『応用一般均衡モデルによる貿易・投資自由化と環境政策の評価』(経済企画庁経済研究所, 1998, 共著), *African Development Report 2000: Regional Integration in Africa* (Oxford Univ. Press for AfDB, 2000, 共著), 『グローバリゼーションと開発』(勁草書房, 2009, 編著) など.

大坪ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/>

国際開発・協力コース担当科目: 開発経済学, グローバリゼーション下の開発マネジメント.

木村 宏恒 (きむら ひろつね) [編集, はしがき, 序章, 第2章, 第C2章, C3-3-1, 結章担当]

学位: 名古屋大学博士 (法学).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

職歴: 熊本大学法学部教授.

専門領域: 開発政治学, 開発学, 東南アジア政治論.

最近の研究課題: 開発の学際的構築, 開発におけるガバナンスの役割.

主著: 『インドネシア現代政治の構造』(三一書房, 1989), 『現代世界の政治経済地図』(三一書房, 1993), 『フィリピン: 開発・国家・NGO—カラバルボン地域総合開発計画をめぐる』(三一書房, 1998), 『下からのグローバリゼーション: もうひとつの地球村は可能だ』(新評論, 2006, 共著), “The Direction of Governance: The Second Pillar of Poverty Reduction Strategy” 『国際開発研究フォーラム』第36号(2008年), 『グローバリゼーションと開発』(勁草書房, 2009, 共著) など.

木村ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/kimura/>

国際開発・協力コース担当科目: 開発政治学, 開発途上国公共政策論.

伊東 早苗 (いとう さなえ) [編集, はしがき, 序章, 第3章, 第C1章, 結章担当]

学位: サセックス大学 D. Phil. (Development Studies).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授.

職歴: 国際協力機構ジュニア専門員, 国際開発高等教育機構研究員.

専門領域: 開発研究 (Development Studies), 農村社会学.

最近の研究課題: マイクロファイナンス, アグロビジネスにおけるグローバル生産システム.

主著: “Agrarian Change in the Process of Globalization,” *Journal of International Development*, Vol.16 (2004), “Export Competitiveness and Pro-Poor Growth in the Shrimp Industry in Bangladesh,” *Enterprise Development & Microfinance*, Vol.18, No.2/3 (2007), 『グローバリゼーションと開発』(勁草書房, 2009, 共著) など.

伊東ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/ito/index.html>

国際開発・協力コース担当科目: 開発社会学, 貧困削減政策論.

第II部 課題クラスター编者（編集委員）（課題クラスター順）

伊東 早苗（いとう さなえ） [課題クラスター1：「貧困」編集, C1-1 担当]
木村 宏恒（きむら ひろつね） [課題クラスター2：「ガバナンス」編集, C2-1 担当]
大坪 滋（おおつぼ しげる） [課題クラスター3：「グローバリゼーション」編集, C3-1,-2,-4 担当]

西川 芳昭（にしかわ よしあき） [課題クラスター4：「農村」編集, C4-1, C4-5 担当]
学位：東京大学博士（農学）.
現在：名古屋大学大学院国際開発研究科教授.
職歴：国際協力事業団（現国際協力機構・農村開発・環境・農林分野研究担当）・農林水産省（プロジェクト企画・国際機構担当）・長崎ウエスレヤン短期大学・久留米大学.
専門領域： 開発行政学, 生物多様性管理, 農村開発.
最近の研究課題： 農業における生物多様性管理・農村開発の制度構築.
主著：『地域文化開発論』（九州大学出版会, 2002）, 『作物遺伝資源の農民参加型管理—経済開発から人間開発へ—』（農山漁村文化協会, 2005）, 『市民参加のまちづくり コミュニティビジネス編 地域の自立と持続可能性』（創成社, 2007, 共編著）, 『地域の振興—制度構築の多様性と課題』（アジア経済研究所, 2009, 共編著）, 『地域をつなぐ国際協力』（創成社, 2009）など.
西川ゼミ・ホームページ：<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/nishikawa/seminar/index.htm>
国際開発・協力コース担当科目： 内発的発展論・参加型農村振興論.

北村 友人（きたむら ゆうと） [課題クラスター5：「教育」編集, C5-1 担当]
学位：カリフォルニア大学ロサンゼルス校 Ph.D. (Education)
現在：名古屋大学大学院国際開発研究科准教授.
職歴：国連教育科学文化機関教育担当官補.
専門領域： 比較教育学, 国際教育開発論.
最近の研究課題： 東南アジア・南アジア諸国における教育改革分析.
主著：*Education for All: Global Promises, National Challenges* (Elsevir, 2007, 共著), 『国際教育開発の再検討』（東信堂, 2008, 共編著）, 『途上国への基礎教育支援』（学文社, 2008, 共編著）, *The Political Economy of Educational Reforms and Capacity Development in Southeast Asia* (Springer, 2009, 共編著）, 『揺れる世界の学力マップ』（明石書店, 2009, 共編著）など.
北村ゼミ・ホームページ：<http://gsid.edhrd.jp/kitamura/profile1.html>
国際開発・協力コース担当科目： 比較国際教育学, 教育社会学, 教育開発政策論.

藤川 清史（ふじかわ きよし） [課題クラスター6：「環境」編集, C6-1, C6-6, Column C6-2 担当]
学位：神戸大学博士（経済学）.
現在：名古屋大学大学院国際開発研究科教授.
職歴：国際連合国際経済社会局統計官, 甲南大学経済学部教授等歴任.
専門領域： 計量経済学, 経済統計学.
最近の研究課題： 国際環境協力, 地域統合の経済効果.
主著：『「国産化」の経済分析—多国籍企業の国際産業連関—』（岩波書店, 1998, 共著）, 『グローバル経済の産業連関分析』（創文社, 1999）, 『産業連関分析入門』（日本評論社, 2005）など.
藤川ゼミ・ホームページ：<http://www2.odn.ne.jp/fortune7/>
国際開発・協力コース担当科目： 開発経済統計学, 開発数量分析論.

中西 久枝 (なかにし ひさえ) [課題クラスター7:「平和」編集, C7-1 担当]

学位: カリフォルニア大学ロサンゼルス校 Ph.D. (History).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

職歴: 光陵女子短期大学助教授, 名古屋大学大学院国際開発研究科助教授.

専門領域: 中東を中心とした平和構築, イスラム社会のジェンダー問題.

最近の研究課題: イランの予防外交.

主著: 『イスラームとモダニティ』(風媒社, 2002), 『はじめて出会う平和学』(有斐閣, 2004, 共著), 『湾岸戦争後の米国の対中東政策・戦略』『戦略研究』第2号(2005年)など.

中西ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/faculty/members/dicos/nakanishi.html>

国際開発・協力コース担当科目: 平和構築学, ジェンダーと開発.

執筆陣 (編集委員以外; あいうえお順)

浅川 晃広 (あさかわ あきひろ) [C3-4-1 担当]

学位: 名古屋大学博士 (学術).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科講師.

職歴: 在オーストラリア日本国大使館専門調査員.

専門領域: 国際人口移動論, 移民政策論, オーストラリア政治社会論.

最近の研究課題: 国際人口移動と開発, 人口減少社会の日本の移民政策.

主著: 『オーストラリア移民政策論』(中央公論事業出版, 2006), 『近代日本と帰化制度』(溪水社, 2007) など.

浅川ホームページ: <http://www.geocities.jp/asakawaakihiro/>

国際開発・協力コース担当科目: 国際開発特論 I (国際人口移動論).

石川晃士 (いしかわ こうじ) [Column C4-1 担当]

学位: ブラッドフォード大学 MSc (Development and Project Planning).

現在: GSID 博士後期課程在籍.

専門領域: 農業経済, 農村開発.

最近の研究課題: カンボジアのコメのバリューチェーンを通じた農村開発.

主著: 「カンボジアにおける米産業の現状とその課題」 *Kyoto Working Papers on Area Studies*, No.14 (*JSPS Global COE Program Series*, 12), 29 ページ.

石原 陽一郎 (いしはら よういちろう) [C7-4 担当]

学位: 名古屋大学博士 (学術). GSID 2003 年度博士後期課程修了生.

現在: 世界銀行アフガニスタン・カブール事務所シニア・エコノミスト.

職歴: 日本長期信用銀行職員, 在インドネシア日本国大使館専門調査員, 世界銀行インドネシア事務所エコノミスト.

専門領域: 開発途上国の成長・投資・財政政策.

最近の研究課題: アフガニスタンの経済社会開発.

主著: 『*Economic Governance and Crises in Emerging Economies*』(名古屋大学大学院国際開発研究科博士學位論文, 2003), 『アフガニスタンの未来をささえる—国際機関職員の仕事』(岩波書店, 2009) など.

板垣 啓四郎 (いたがき けいしろう) [C4-2 担当]

学位：東京農業大学博士（農学）。

現在：東京農業大学国際食料情報学部教授。

職歴：東京農業大学助教授，名古屋大学大学院国際開発研究科国内客員研究員（2005 年度）

専門領域： 農業開発経済学，国際農業協力論。

最近の研究課題：東南アジア諸国における農業・農村開発と国際協力，農産物貿易と食品民間投資。

主著：『村落開発と国際協力—住民の目線で考える—』（古今書院，2002，共著），『熱帯農業と国際協力』（筑波書房，2006 共著），『開発と農村—農村開発論再考—』（アジア経済研究所，2008 『食糧需給と経済発展の諸相』（筑波書房，2008，共編著），『村落開発と環境保全—住民の目線で考える—』（古今書院，2008，共著）

岡田 亜弥 (おかだ あや) [Column C5-3 担当]

学位：マサチューセッツ工科大学 Ph.D. (Economic Development and Regional Planning).

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科教授。

職歴：国連地域開発センター，国連児童基金。

専門領域： 地域計画学，経済開発論，社会開発論（教育・人的資源開発）。

最近の研究課題： グローバリゼーションと教育・訓練・技能開発政策，経済グローバル化の雇用と労働市場への影響，アジアの産業クラスター。

主著：“Skills Development and Inter-firm Learning Linkages under Globalization: Lessons from the Indian Automobile Industry,” *World Development*. Vol.32, No.7 (2004) , *High-tech Industries, Employment and Global Competitiveness* (Routledge, 2008, 共著), *The Flowchart Approach to Industrial Cluster Policy* (Palgrave-Macmillan, 2008, 共著), 『産業スキルディベロプメント—グローバル化と途上国の人材育成』（日本評論社，2008，共編著），*Institutional Dynamics and the Evolution of Indian Economy* (Palgrave-Macmillan, 2009, 共著) など。

岡田ゼミ・ホームページ：<http://gsid.edhrd.jp/okada/profile1.html>

国際開発・協力コース担当科目：産業技術教育論，社会開発論，地域開発計画論。

長田 博 (おさだ ひろし) [第 C1-2 章担当]

学位：名古屋大学博士（経済学）。

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科教授。

職歴：アジア経済研究所研究員，名古屋大学大学院国際開発研究科助教授。

専門領域： 開発経済学，国際経済学。

最近の研究課題： マクロ開発政策と貧困削減，東アジアの F T A。

主著：『アジアの成長循環』（アジア経済出版会，1992，共編著），「中国の WTO 加盟による短期的影響と貿易をめぐる諸問題」『国際開発研究フォーラム』第 24 号(2003 年)，「Pro-Poor Growth アプローチ課題と有効性—」『国際開発研究フォーラム』第 33 号(2007 年)，など。

長田ゼミ・ホームページ：<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/osada/zm-en.html>

国際開発・協力コース担当科目：開発マクロ経済学，開発公共政策論。

小山田 英治 (おやまだ えいじ) [C2-4 担当]

学位：名古屋大学博士（学術）。GSID 2003 年度博士後期課程修了生。

現在：パラマディナ大学国際交流センター長。

職歴：UNDP 東京事務所，世界銀行ジャカルタ事務所。

最近の研究課題：途上国における対汚職政策。

主著：「開発途上国における近年の汚職研究と汚職防止規範に関する一考察」『国際開発研究フォーラム』第20号(2001), 「第2章 グッド・ガバナンス構築の側面から見たアロヨ政権下における汚職問題と反汚職取り組み」黒岩郁雄編『開発途上国におけるガバナンスの諸課題—理論と実際—』(アジア経済研究所, 2004) 「インドネシアにおけるガバナンス改革の現状とユドヨノ政権の対策」『アジア研ワールド・トレンド』11(2)(2005)など。

加藤 久和 (かとう ひさかず) [Column C6-3 担当]

学位：サセックス大学大学院修士(国際関係論)

現在：帝京大学法学部教授 (名古屋大学法学部名誉教授)。

職歴：環境庁企画調整局計画調査室長・地球環境部環境協力室長, 国連環境計画 (UNEP) 事務局長特別補佐官, 環境と開発に関する世界委員会 (WCED) 計画部長, 環境事業団地球環境基金部長, 名古屋大学大学院法学研究科教授等を歴任。

専門領域：国際環境協力論, 環境法と政策, 国際環境法。

最近の研究課題：気候変動枠組み条約および京都議定書の実施と遵守, アジア諸国の環境法の比較研究, 北東アジアにおける地域環境協力のあり方。

主著：『京都議定書の国際制度』(信山社, 2002, 共著), 「アジアにおける地域環境レジームの形成—評価と展望 (序説)」『名古屋大学法政論集』, 第202号 (2004) など。

川島 富士雄 (かわしま ふじお) [C3-3-2 担当]

学位：東京大学学士 (法学)。

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科准教授。

職歴：金沢大学法学部助教授。

専門領域：国際経済法, 経済法。

最近の研究課題：WTOにおける貿易と開発, 東アジアにおける市場開放・市場経済化と法的諸問題。

主著：『WTO体制下のセーフガード—実効性ある制度の構築に向けて』(東洋経済新報社, 2004, 共著), 『WTO紛争解決手続きの履行制度』(三省堂, 2005, 共著), 『グローバル化と開発』(勁草書房, 2009, 共著), 『ケースブック WTO法』(有斐閣, 2009, 共著) など。

川島ブログ：<http://www2.gsid.nagoya-u.ac.jp/blog/fkawa/about/>

国際開発・協力コース担当科目：国際経済法, 国際競争法。

カンピラパーブ, スネート (KAMPEERAPARB, Sunate) [C5-3 担当]

学位：筑波大学 修士 (教育学)。

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科専任講師。

職歴：筑波大学教育学系準研究員。

専門領域：比較国際教育学, 留学生教育。

最近の研究課題：留学効果測定システムの構築, タイの教育の国際化。

主著：「タイにおける基礎教育改革の理念とその展開」『比較教育学研究』第30号 (2004, 共著), 『アジアの教科書に見る子ども』(ナカニシヤ出版, 2005, 共著), 「タイにおける高等教育の国際化と留学生施策の動向」『留学交流』第18巻第2号 (2006) など。

金城 盛彦 (きんじょう もりひこ) [C6-2, Column C6-1 担当]

学位：名古屋大学博士 (学術) 。 GSID 1998 年度博士後期課程修了生。

現在：東海大学政治経済学部准教授。

職歴：東海大学政治経済学部講師。

専門領域：環境経済学, 開発経済学。

最近の研究課題：人間の安全保障の応用一般均衡分析，サステイナブル・ツーリズムの経済分析。

主著：「地球温暖化問題の解消策としての国際協力の費用・便益分析—動学的な多部門一般均衡（CGE）モデル分析による日中協力の経済学的価—」（名古屋大学大学院国際開発研究科博士学位論文，1998），「廃棄物SAMによる「三番瀬」の経済的価値の推計」『国際開発フォーラム』，第33号，（2007），「沖縄県のツーリズム需要の要因分解—政策評価ツールとしての要因積の寄与率分析—」『日本国際観光学会論文集』，第16号（2009）など。

木村 ひとみ（きむら ひとみ） [C6-5 担当]

学位：名古屋大学修士（学術），Temple University（法学修士）。GSID 2001 年度博士前期課程修了生。

現在：地球環境戦略研究機関研究員。

職歴：（株）UFJ 総合研究所研究員。

専門領域：国際環境法，環境法，環境政策，国際環境協力論。

最近の研究課題：気候変動枠組み条約および京都議定書の遵守と国内実施，2013 年以降の将来枠組みの法政策，アジア諸国における低炭素社会の構築のための法制度。

主著：「2006 年：カリフォルニア州暖化対策法（A.B.32）および同州の温暖化法制に対する連邦最高裁判所判決の概要」*Law & Technology*, No.38（2008），「イギリスの気候変動法案（UK Climate Change Bill）」『季刊環境研究』No.149，（2008），「バリ行動計画に見られる国際環境法上の課題と将来枠組みへの示唆」*Journal of Environmental Law and Policy*, Vol.12（2009）など。

ホームページ：http://enviroscope.iges.or.jp/modules/envirolib/staff_view.php?sid=30

古藪 真紀子（こやぶ まきこ） [Column C7-1 担当]

学位：ユタ州立大学学士（社会学）。

現在：開発コンサルタント。

職歴：国際協力機構ジュニア専門員，アフガニスタン国ジェンダー・コミュニティ開発アドバイザー（JICA プロジェクト長期専門家）。

専門領域：開発社会学，平和構築学，ジェンダーと開発。

最近の研究課題：アフガニスタンにおける女性のエンパワーメントと平和構築。

櫻井 次郎（さくらい じろう） [C6-4, C6-6 担当]

学位：名古屋大学博士（学術）。GSID 2001 年度博士後期課程修了生。

現在：名古屋大学国際開発研究科助教。

職歴：名古屋大学国際開発研究科助手。

専門領域：環境法，環境政策。

最近の研究課題：アジアの環境規制法制の比較研究，中国の環境ガバナンス。

主著：「中国における環境汚染被害とその救済の現状」『季刊環境研究』，150号（2008），「現代中国の環境公害訴訟に関する一考察—福建省寧徳市の化学工場汚染事件に焦点を当てて—」（『名古屋大学法政論集』，224号（2008年）など。

ホームページ：<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/faculty/members/dicos/sakurai-j.html>

島田 弦（しまだ ゆづる） [C2-2 担当]

学位：名古屋大学博士（学術）。GSID 2002 年度博士後期過程修了生。

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科准教授

専門領域：アジア法，インドネシア法。

最近の研究課題：「法の移植」論のアジア法への応用，アチェ津波被害復興過程における法の役割。

主著：「インドネシアにおける植民地支配と『近代経験』—インドネシア国家原理とアダット法研究」

『社会体制と法』第6号(2005年), 「改革期インドネシアにおける汚職対策と法の支配」孝忠延夫・鈴木賢編『北東アジアにおける法治の現状と課題—鈴木敬夫先生古稀記念』成文堂(2008年), 「インドネシア・アダット法研究における19世紀オランダ法学の影響—ファン・フォレンホーフェンのアダット法研究に関する考察—」『国際開発研究フォーラム』第38号(2009年)など。

島田ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/shimadayuzuru/index.html>

国際開発・協力コース担当科目: アジア法, 開発法学, 平和構築特論。

新海 尚子 (しんかい なおこ) [Column C1-1, C1-2 担当]

学位: ミシガン大学 Ph.D. (Economics).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科准教授。

職歴: 米州開発銀行エコノミスト, 国際協力銀行開発金融研究所研究員。

専門領域: 開発経済学, 国際経済学。

最近の研究課題: 貧困削減, ODA の評価, インフラ開発の社会経済効果分析。

主著: 「貧困削減におけるインフラの役割スリランカ・パキスタンにおける JBIC 灌漑事業のインパクト評価」『開発金融研究所報』第32号(2006年, 共著), 「インフラ整備と貧困削減—ベトナムのケース—」『国際開発研究フォーラム』第32号(2006年)など。

新海ゼミ・ホームページ: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/shinkai/GSID%20HP/ViewP.htm>

国際開発・協力コース担当科目: 開発ミクロ経済学, 開発金融論。

染矢 将和 (そめや まさかず) [Column C3-2 担当]

学位: 名古屋大学博士(学術)。GSID 1997年度博士後期課程修了生。

現在: 国際協力機構(JICA) 審査部信用力審査課調査役

職歴: 世界銀行中東・北アフリカ局エコノミスト, 国際協力銀行(JBIC) 国際審査部調査役

専門領域: 開発経済学, 国際経済学, マクロ経済学, 計量経済学。

最近の研究課題: インド経済, パキスタン経済, 証券市場の分析, 債務持続性分析。

主著: “Yemen: External Competitiveness”, in *Economic Growth in the Republic of Yemen*, World Bank (2003) など。

田中 香織 (たなか かおり) [Column C2-3 担当]

学位: 名古屋大学博士(学術)。GSID 2008年度博士後期課程修了生。

現在: 在イスラエル日本大使館二等書記官。

職歴: 国際協力事業団(現国際協力機構) JICA エジプト事務所企画調査員。

最近の研究課題: パレスチナ自治区における市民社会, ガバナンス, 国際援助の動向。

主著: 「パレスチナの State-building における市民団体の役割」『国際開発研究フォーラム』第14号(1999), 「ヨルダン川西岸(パレスチナ自治区)におけるコミュニティと市民社会」『国際開発研究フォーラム』第26号(2004)など。

戸田 隆夫 (とだ たかお) [C7-3 担当]

学位: 名古屋大学博士(学術)。GSID 2008年度博士後期課程修了生。

現在: JICA バングラデシュ事務所長。

職歴: JICA 研究所上席研究員, 平和構築支援室長, 米国事務所次長, 改革推進室長代理等歴任。

専門領域: 国際協力, 平和構築, 人間の安全保障。

最近の研究課題: 政府開発援助における人間の安全保障, 社会変革, 理念と組織・個人の関係。

主著: 「紛争予防に対する開発援助の役割と課題」『国際開発研究フォーラム』第38号(2009年),

「On Setting and Reaching Development Goals; The MDGs, Policy Coherence, and Partnership」『国際開発研究』Vol.14, No.2 (2005年, 共著), 「開発援助と平和構築についての展望」『開発アプローチと変容するセクター課題』(2004年), 「環境、平和と開発の相関を踏まえた国際協力のパラダイム構築」『国際環境協力』創刊号 (2001年) など.

西村 美彦 (にしむら よしひこ) [C4-3, C4-4, Column C4-1 担当]

学位: 筑波大学博士 (農学).

現在: 名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

職歴: 国際協力事業団 (現国際協力機構・半乾燥熱帯作物研究所・ネパール・インドネシア農村開発プロジェクト専門家等)

専門領域: 農村開発, プロジェクトマネジメント, 営農体系技術.

最近の研究課題: 熱帯の農業・農村開発研究.

主著: 「熱帯の作付体系技術と農業・農村開発への貢献—半乾燥及び湿潤熱帯での実践を通して—」『熱帯農業』45巻5号 (2001年), 『熱帯農業事典』(養賢堂, 2003, 共著), 『熱帯アジアにおける作付体系技術』(筑波書房 2009) など.

西村ゼミ・ホームページ:

<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/faculty/members/did/nishimura.html>

国際開発・協力コース担当科目: 農村開発論・プロジェクトマネジメント論

野田 真里 (のだ まさと) [C1-3 担当]

学位: 早稲田大学修士 (経済学), ロンドン大学 LSE, M.S.c.(NGO Management). GSID 1998 年度博士後期課程修了生.

現在: 中部大学国際関係学部 国際関係学科准教授.

職歴: 社団法人シャンティ国際ボランティア会スタッフ, 名古屋大学大学院国際開発科助手.

専門領域: NGO/NPO マネジメント, 社会開発政策, 経済発展論.

最近の研究課題: 貧困削減と人間の安全保障, 農村コミュニティ開発における社会関係資本と NGO/市民社会組織, NGO・NPO とパートナーシップ, 途上国の教育開発と住民参加.

主著: 『岩波講座 開発と文化 第7巻: 人類の将来と開発』(岩波書店, 1998, 共著), 『アジアの内発的発展』(藤原書店, 2000, 共著), 『仏教・開発・NGO—タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』(新評論, 2001, 共編著), 『人間の安全保障—貧困削減の新しい視点』(国際協力出版会, 2007, 共著), 『東アジアの民主化と社会運動』(明石書店, 2007, 共著), 『ベトナムにおける初等教育の普遍化政策』(明石書店, 2008, 共著), など.

ホームページ:

<http://www.chubu.ac.jp/about/faculty/profile/a783f5b4e4dd55b724300268061cdef3e7ee3819.html>

国際開発・協力コース担当科目: NGO 論 (非常勤講師)

原嶋 洋平 (はらしま ようへい) [C6-3 担当]

学位: 名古屋大学博士 (学術). GSID 1996 年度博士後期課程修了生.

現在: 拓殖大学国際学部教授.

職歴: 地球環境戦略研究機関(IGES)主任研究員.

専門領域: 環境政策学.

最近の研究課題: アジアの環境政策の国際比較, 貿易と環境, 地球温暖化対策.

主著: 『国際開発学—アジア地域研究の現在』(東洋経済新報社, 2000, 共著), 『環境革命の時代—21世紀の環境概論』(東京書籍, 2002, 共著), 『環境 (東アジア長期経済統計)』(勁草書房, 2002, 共著), 『Environmental Change and Foreign Policy: Theory and Practice』(Routledge, 2009, 共著) など.

廣里 恭史 (ひろさと やすし) [Column C5-1 担当]

学位：ピッツバーグ大学 Ph.D. (International and Development Education) .

現在：アジア開発銀行社会開発局上級教育専門官.

職歴：世界銀行本部戦略立案・評価局 NGO 担当官, 名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

専門領域： 教育開発論, 国際教育協力論.

最近の研究課題： 開発途上国の教育開発・改革過程に関する政治経済学的手法による研究.

主著：『途上国への基礎教育支援』(学文社, 2008, 共編著), 『国際教育開発の再検討』(東信堂, 2008, 共著), 『教育開発国際協力研究の展開』(明石書店, 2008, 共著), *The Political Economy of Educational Reforms and Capacity Development in Southeast Asia* (Springer, 2009, 共編著) など.

国際開発・協力コース担当科目：教育開発・協力論, 教育開発計画・評価論 (2005-2007 年度) .

マズワナ, ジョン-クロード (Maswana, Jean-Claude) [Column C3-1 担当]

学位：名古屋大学博士 (学術). GSID 2002 年度博士後期課程修了生.

現在：JICA 研究所研究員

職歴：京都大学大学院経済学研究科講師

専門領域： 金融システム開発, アフリカとアジアの比較開発論.

最近の研究課題： グローバル金融危機とアフリカ開発, 東アジアとアフリカの経済関係

主著：“A Contribution to the Empirics of Finance-growth Nexus in China: A Complex System Perspective,” *Global Economic Review: Perspectives on East Asian Economies and Industries*, 38/1 (2009), “Can China Trigger Economic Growth in Africa? An Empirical Investigation Based on the Economic Interdependence Hypothesis,” *The Chinese Economy*, 42/02 (2009), “Economic Development Patterns and Outcomes in Africa and Asia,” in *Economic Development Strategies*, The Icfai University Press, (2009) など.

松本 俊之 (まつもと としゆき) [Column C5-2 担当]

学位：名古屋大学修士 (国際開発). GSID1998 年度博士前期課程修了生.

現在：国連教育科学文化機関バンコク事務所教育担当官補.

職歴：豊田通商 (株)

専門領域：教育計画, 教育財政.

マハラニ・ハプサリ (Maharani Hapsari) [Column C2-3 担当]

学位：ガジヤマダ大学学士 (政治学).

現在：ガジヤマダ大学社会政治学部講師, GSID 博士前期課程在籍.

職歴：インドネシア戦略政策研究所研究員.

専門領域： 国際開発学, 環境政治学.

最近の研究課題： インドネシアにおけるパーム油生産拡大と国家：政治生態学と制度.

山形 英郎 (やまがた ひでお) [C7-2 担当]

学位：法学修士 (京都大学), LL.M. with Distinction (Sheffield).

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科教授.

専門領域：国際法.

最近の研究課題：人間の安全保障と「保護する責任」.

主著：『グローバル化する世界と法の課題』(東信堂, 2006 年, 共編著), 『プロブレマティーク国際関係』(東信堂, 1996 年, 共編著) など.

国際開発・協力コース担当科目：国際協力法, 人間の安全保障と法.

山田 肖子 (やまだ しょうこ) [C5-2 担当]

学位：インディアナ大学 Ph.D. (Education and African Studies).

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科准教授.

職歴：広島大学教育開発国際協力研究センター研究員, 政策研究大学院大学准教授.

専門領域：比較国際教育学, 教育社会学, アフリカ研究.

最近の研究課題：アフリカにおける教育政策形成過程での外部からの影響と内部要因, 教育に関する価値形成の社会的プロセス.

主著：“Educational Borrowing as Negotiation: Reexamining the influence of American black industrial education model on British colonial education in Africa,” *Comparative Education* Vol.44, No 1 (2008), 『アフリカのいまを知ろう』(岩波書店, 2008年, 編著), 『産業スキルディベロプメントグローバル化と途上国の人材育成』(日本評論社, 2008, 共編著) など.

山田ゼミ・ホームページ：<http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/syamada/index.html>

国際開発・協力コース担当科目：教育開発・協力論, 教育開発計画・評価論.

ンガウ, ペンホイ (NGOV, Penghuy) [Column C2-1 担当]

学位：名古屋大学修士(学術). GSID 2007年度博士後期課程修了生.

現在：名古屋大学大学院国際開発研究科助教.

専門領域：開発経済学, 国際経済学.

最近の研究課題：海外直接投資, ガバナンス, と経済成長の三角関係

主著：“Governance, Foreign Direct Investment, and Economic Growth,” *Forum of International Development Studies*, 36 (2008) など.

国際開発・協力コース担当科目：海外実地研修, 国内実地研修